

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人名越鐵夫の上告趣意について。

所論免訴の主張は、明らかに刑訴四〇五条の上告理由に当たらない。また物価統制令違反の犯罪成立後その統制額が廃止されても、刑罰が廃止されるものでないこと当裁判所大法廷の判例であるから、所論は同四一一条五号にも当たらない。

よつて同四一四条三八六条一項三号により主文のとおり決定する。

この決定は、真野裁判官の所論（前記判例参照）は刑訴四一一条五号に当たるとする意見を除き、裁判官全員一致の意見である。

昭和二六年四月五日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	真	野	毅
裁判官	澤	田	竹 治 郎
裁判官	齋	藤	悠 輔
裁判官	岩	松	三 郎